

戦後中国引揚者聴取資料 全23巻

—外交史料館所蔵「中共事情」—

戦後、中国からの引揚者に対して行われた、膨大な聴き取り調査の記録。留用・革命の実態を克明に証言し、日中間の知られざる歴史に光を当てる重要資料。

戦後中国引揚者 聴取資料

全23巻

—外交史料館所蔵「中共事情」—

◆監修・解説◆大澤 武司 福岡大学人文学部教授

戦後、中国からの引揚者に対して行われた、膨大な聴き取り調査の記録。
留用・革命の実態を克明に証言し、日中間の知られざる歴史に光を当てる重要資料。



電子書籍 同時刊行予定!!



ゆまに書房

【本書の特色】

- 一九五三年から一九五六年まで、日本の情報機関「陸隣会」が、中国からの帰国者を対象に行った聴取の記録「中共事情」（全八十一巻、外務省外交史料館蔵）を、影印形式で刊行。
- 証言者には、日本の敗戦後も中国に留まり、中国共産党に協力した日本人＝留用者が多く、彼らが鉄道・医療・鉱工業などの分野で如何に中国の再建に努力したかを伝える。
- 留用者が勤務した工場、病院、交通・行政機関等について、その規模、生産設備、労働者の勤務状況等、具体的な数値や詳細な地図とともに、機関の実態を明らかにする。
- 国共内戦、共産革命、朝鮮戦争の時期において、証言者が外国人として見聞きした中国社会の実態を克明に記録しており、地方志や文史資料を補完する資料となる。
- 最終巻に「解説」及び総目次、被聴取者の経歴要約を掲載する。
- 収録資料の一例（『中共事情』第一巻、昭和二十八年より）鶴崗炭坑関係／東北の空軍教育及び西北鉄道関係／中央政府の治水機構／中国政府の指導精神と人民の思想／ハルピンの抑留関係 他

2022年11月搭載開始(以後続巻です)

戦後中国引揚者聴取資料 第1巻「中共事情」綴	第1～4巻
刊行年月	2022年07月 定価23,100円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-6361-4 C3331
戦後中国引揚者聴取資料 第2巻「中共事情」綴	第5～7巻
刊行年月	2022年07月 定価19,800円(本体18,000円) ISBN978-4-8433-6362-1 C3331
戦後中国引揚者聴取資料 第3巻「中共事情」綴	第8～10巻
刊行年月	2022年07月 定価17,600円(本体16,000円) ISBN978-4-8433-6363-8 C3331
戦後中国引揚者聴取資料 第4巻「中共事情」綴	第11～13巻
刊行年月	2022年07月 定価17,600円(本体16,000円) ISBN978-4-8433-6364-5 C3331
戦後中国引揚者聴取資料 第5巻「中共事情」綴	第14～16巻
刊行年月	2022年07月 定価15,400円(本体14,000円) ISBN978-4-8433-6365-2 C3331

聴取例その1

- 対象者の学歴
8才で渡満、終戦時小学校6年生
終戦後、父がハルピン駅勤務のため現地中学に通う
1947年 ハルピン鉄道機関区見習と同時に、日本人高等学校へ通学
- 対象者の経歴
1951年3月、太原北站機関区実験室に勤務
1952年7月、同重工業部に転属、太原鋼鉄廠技術処勤務
1953年7月第四次興安丸で帰国
- 調査の内容
其の一 供述書の履歴、行動の概要
其の二 鉄道の管理機構について
其の三 鉄道建設、特に中ソ両国間連絡鉄道の建設に関する断片的情報
其の四 鉄道輪転材料の種類及び製造（修理）工場並に鉄道運賃の一端について
其の五 ハルピンを中心とする旅客列車の運行状況に就いて
其の六 鉄道関係及び一般の公安部隊、公安局の任務、隷属系統、服制等について
其の七 解放軍（陸軍）の階級及び給与の一端に就て
其の八 解放軍（空軍）の一端に就て
其の九 中ソ提携其の他に関する断片的軍事情報
其の一〇 民間航空の一端に就て
其の一〇 中国在留日本人に関する情報
其の一〇 其の他の雑情報

聴取例その2

- 対象者の学歴
昭和8年（1933） 京大理学部地質学科卒
- 対象者の経歴
大学卒業後、満鉄地質調査所に入所→朝鮮に移り、総督府水力電気建設局勤務→満洲国大陸科学院地質調査所に移る
終戦後、国民政府に留用され、長春調査所→長春大学等
- 調査の内容
一、情報源
二、政治機構
（一）大行政府内の組織（二）有色金属管理局（三）有色金属管理局と地質調査所との関係（四）官衙の位置（五）各機構の事務連絡（六）朝鮮自治区（七）職員待遇
三、資源、生産
四、軍事
（一）米機の東北侵空（二）細菌戦（三）朝鮮戦争の影響（四）航空関係情報（五）心理戦的事項
五、心理戦関係事項
（一）宣伝（二）旅行統制（三）その他
六、都市
七、交通
八、社会
（一）民生（二）民心
九、科学技術
（一）地下資源開発の重視（二）中共現下の技術上の欠点（三）工場建設の規模
十、思想
十一、全般的事項
十二、地図に就て



本文のサンプルです